主索及び調速機ロープの判定フロー

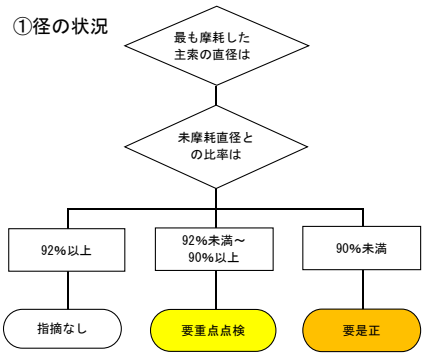
1、主索及び調速機ロープの検査項目と判定要領

主索の検査においては、①～③の検査を行い
総合的の判定する。

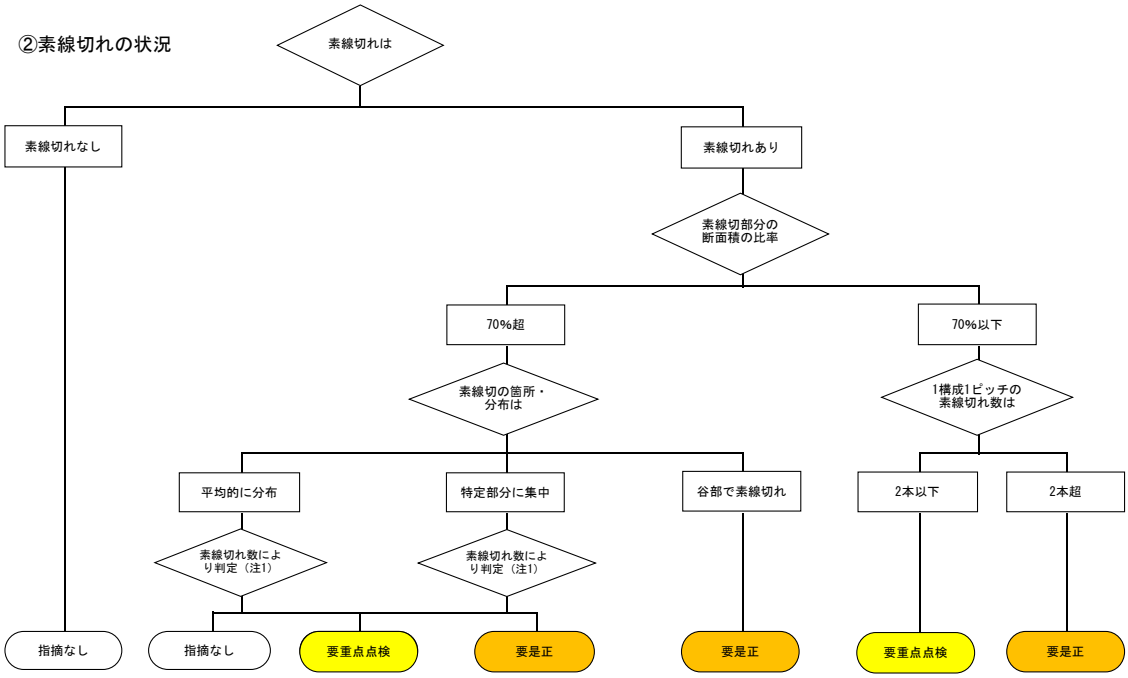
（注1）主索の素線切数による判定

平均的に分布	要是正	①1よりピッチ内の素線切総数が6よりで24本超、8よりで32本超 ②1構成より1ピッチ内4本超
	要重点点検	①1よりピッチ内の素線切総数が6よりで18本超、8よりで24本超 ②1構成より1ピッチ内3本超
特定部分に集中	要是正	①1よりピッチ内の素線切総数が6よりで12本超、8よりで16本超 ②1構成より1ピッチ内9本超
	要重点点検	①1よりピッチ内の素線切総数が6よりで9本超、8よりで12本超 ②1構成より1ピッチ内7本超

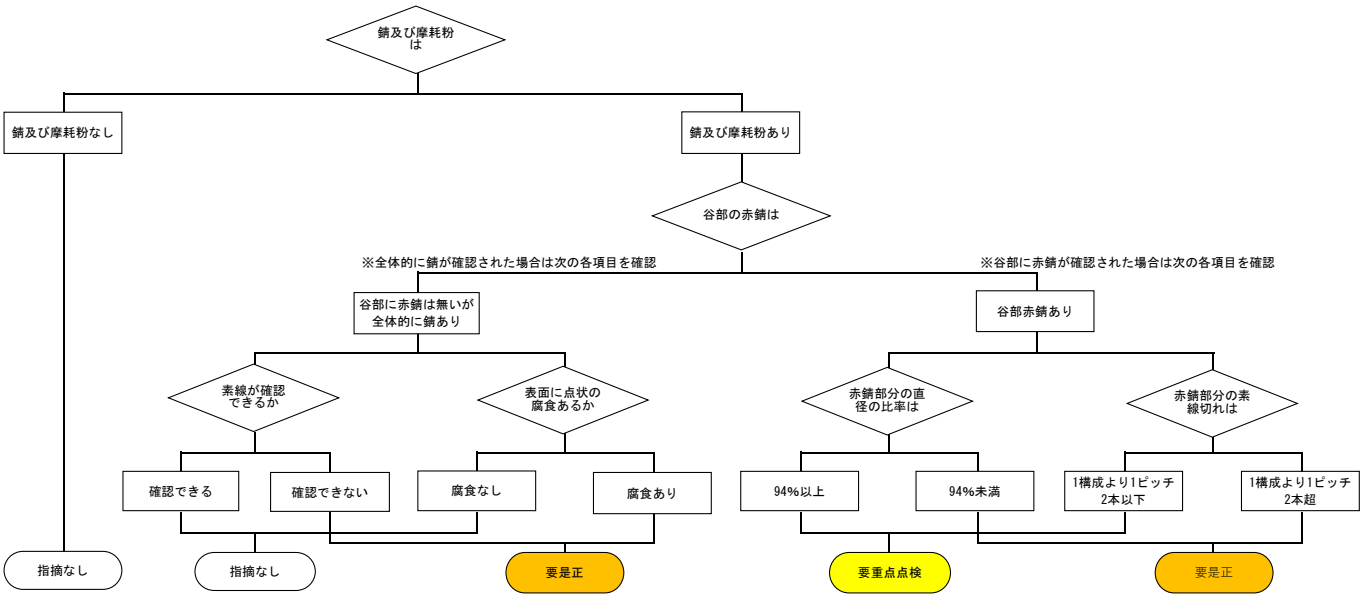
①径の状況



②素線切れの状況



③錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分



1. 判定基準の記号

「該当する素線切れ判定基準」及び「該当する錆及び摩耗粉判定基準」には、下表に従って判定基準の記号を記入してください。

表1　素線切れ判定基準の記号

以下のａとｂの記号を組み合わせて記入すること。

ａ素線破断の判定記号

1　素線切れが平均的に分布する場合
2　素線切れが特定の部分に集中している場合
3　素線切れが生じた部分の断面積の摩損がない部分の断面積に対する割合が70%以下である場合
4　谷部で素線切れが生じている場合

ｂ判定結果の記号

イ　要是正判定の場合
ロ　要重点点検判定の場合
ハ　指摘なしの場合

＜記入例＞
素線切れが平均的に分布する場合で、判定が要是正であった場合　該当する素線切れ判定基準（１－イ）
指摘事項がない場合　該当する素線切れ判定基準（ハ）

表2　錆及び錆びた摩耗粉判定基準の記号

以下のａとｂの記号を組み合わせて記入すること。

ａ錆及び錆びた摩耗粉の判定記号

1　錆びた摩耗粉が多量に付着している場合
2　点状の腐食が多数生じている場合
3　錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分の直径の錆が無い部分の直径に対する割合が94%未満である場合
4　錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分がある場合

ｂ判定結果の記号

イ　要是正判定の場合
ロ　要重点点検判定の場合
ハ　指摘なしの場合

＜記入例＞
錆びた摩耗粉が多量に付着している場合で、判定が要是正であった場合
該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準（１－イ）
指摘事項がない場合　該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準（ハ）

2. 検査結果表の記入要領

主索及び調速機ロープの検査において、判定フローの①～③の判定結果による検査結果記入例を以下に示す。

検査項目	パターン A	B	C	D（同一主索にて指摘あり）	E（同一主索にて指摘あり）	F（不同主索にて指摘あり）	G（不同主索にて指摘あり）	H
①径の状況	指摘無	指摘無	指摘無	指摘無	指摘無	指摘無	指摘無	主索に錆びた摩耗粉が多量に付着し、素線が確認できず要是正
②素線切れの状況	指摘無	要是正	指摘無	要重点点検	要是正	要重点点検	要是正	
③錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分	指摘無	指摘無	要重点点検	要是正	要重点点検	要是正	要重点点検	
総合判定	指摘無	要是正	要重点点検	要是正	要是正	要是正	要是正	要是正

検査結果表及び別添1の記入要領（調速機ロープにおいては、素線切れ数を記入することを除き、主索に準じて記入してください）

パターン	検　査　項　目		総合判定	補　足
A 素線切れ無し 錆び摩耗粉無し	径の状況 最も摩耗した主索の番号　（　1　） 直径（　11.9mm）　未摩耗直径（　12.3mm）	96.7%	指摘なし	◈最も摩耗した主索№1の写真を、別添1に添付してください。 ◈写真は、明るく鮮明なもので素線が確認できるように撮影してください。 ◈素線切れが無い場合は、断面積の割合の「70%超・70%以下」に抹消線を記入してください。「該当する素線切れ判定基準」には「ハ」と記入し、素線切れ数は未記入としてください。 ◈錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分の有無については「なし」を〇で囲み判定基準に「ハ」を記入、その他は未記入としてください。 ◈主索の本数を記入し、主索の番号はそれぞれ未記入としてください。
	素線切れ 最も摩損した主索の番号　（素線切れ無） 該当する素線切れ判定基準　（　ハ　） 素線切れが生じた部分の断面積の割合 ~~70%超・70%以下~~	1よりピッチ内の素線切れ数　本 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　本		
	錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 （あり・〇なし） 谷部が赤錆色に見える主索の番号　（　） 直径（　mm）　未摩耗直径（　mm） 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準　（　ハ　）	% 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　本		
	主索本数（　3　） 要重点点検の主索の番号（　）　要是正の主索の番号（　）			
B 素線切れ有り 錆び摩耗粉有り 要是正	径の状況 最も摩耗した主索の番号　（　1　） 直径（　11.2mm）　未摩耗直径（　12.0mm）	93.3%	要是正	◈最も摩耗した主索№1の写真を、別添1に添付してください。 ◈素線切れが確認された場合は、断面積の割合を確認し、該当するものを〇で囲ってください。 ◈該当する「素線切れ判定基準」に判定記号を記入してください。 ◈錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分の有無については「なし」を〇で囲み判定基準に「ハ」を記入、その他は未記入としてください。 ◈主索の本数を記入し、要重点点検の主索の番号は未記入とし、要是正の主索の番号を記入してください。
	素線切れ 最も摩損した主索の番号　（　1　） 該当する素線切れ判定基準　（　1－イ　） 素線切れが生じた部分の断面積の割合 〇70%超・70%以下	1よりピッチ内の(8より)素線切れ数　14　本 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　5　本		
	錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 （あり・〇なし） 谷部が赤錆色に見える主索の番号　（　） 直径（　mm）　未摩耗直径（　mm） 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準　（　ハ　）	% 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　本		
	主索本数（　3　） 要重点点検の主索の番号（　）　要是正の主索の番号（　1　）			
C 素線切れ無し 錆び摩耗粉有り 要重点点検	径の状況 最も摩耗した主索の番号　（　1　） 直径（　11.9mm）　未摩耗直径（　12.1mm）	98.3%	要重点点検	◈最も摩耗した主索№1の写真を、別添1に添付してください。 ◈素線切れが無い場合は、断面積の割合の「70%超・70%以下」に抹消線を記入してください。「該当する素線切れ判定基準」には「ハ」と記入し、素線切れ数は未記入としてください。 ◈「該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準」に判定記号を記入し、素線切れが無い場合は「0本」と記入してください。 ◈主索の本数を記入し、要重点点検の主索の番号は記入、要是正の主索の番号は未記入としてください。
	素線切れ 最も摩損した主索の番号　（素線切れ無） 該当する素線切れ判定基準　（　ハ　） 素線切れが生じた部分の断面積の割合 ~~70%超・70%以下~~	1よりピッチ内の素線切れ数　本 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　本		
	錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 〇あり・なし） 谷部が赤錆色に見える主索の番号　（　1　） 直径（　11.9mm）　未摩耗直径（　12.1mm） 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準　（　4-ロ　）	98.3% 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　0　本		
	主索本数（　3　） 要重点点検の主索の番号（　1　）　要是正の主索の番号（　）			

パターン	検　査　項　目		総合判定	補　足
D 素線切れ要重点点検 錆びた摩耗粉要是正	径の状況 最も摩耗した主索の番号　（　1　） 直径（　11.1mm）　未摩耗直径（　12.0mm）	92.5%	要是正	※主索No.1で要重点点検となった、素線切れ箇所の写真を別添1に添付してください。 ※主索No.1で要是正となった、錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える箇所の写真を別添1に添付してください。 ※素線切れと谷部が赤錆色に見える箇所が同一箇所の場合は、主索の写真は1枚でかまいません。 ※No.1の主索で要重点点検と要是正の判定であり、判定の重い要是正の主索の番号に「1」を記入し、要重点点検の主索の番号は未記入としてください。
	素線切れ 最も摩損した主索の番号　（　1　） 該当する素線切れ判定基準　（　2ーロ　） 素線切れが生じた部分の断面積の割合 70%超・70%以下	1よりピッチ内の(8より)素線切れ数　10　本 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　8　本		
	錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 （あり・なし） 谷部が赤錆色に見える主索の番号　（　1　） 直径（　11.1mm）　未摩耗直径（　12.0mm） 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準　（　3-イ　）	92.5% 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　5　本		
	主索本数（　4　） 要重点点検の主索の番号（　）　要是正の主索の番号（　1　）			
E 素線切れ要是正 錆びた摩耗粉要重点点検	径の状況 最も摩耗した主索の番号　（　1　） 直径（　11.4mm）　未摩耗直径（　12.0mm）	95.0%	要是正	※主索No.1で要是正となった、素線切れ箇所の写真を別添1に添付してください。 ※主索No.1で要重点点検となった、錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える箇所の写真を別添1に添付してください。 ※No.1の主索で要重点点検と要是正の判定であり、判定の重い要是正の主索の番号に「1」を記入し、要重点点検の主索の番号は未記入としてください。
	素線切れ 最も摩損した主索の番号　（　1　） 該当する素線切れ判定基準　（　3ーイ　） 素線切れが生じた部分の断面積の割合 70%超・70%以下	1よりピッチ内の(8より)素線切れ数　3　本 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　3　本		
	錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 （あり・なし） 谷部が赤錆色に見える主索の番号　（　1　） 直径（　11.4mm）　未摩耗直径（　12.0mm） 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準　（　4-ロ　）	95.0% 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　2　本		
	主索本数（　4　） 要重点点検の主索の番号（　）　要是正の主索の番号（　1　）			
F 素線切れ要重点点検 錆びた摩耗粉要是正	径の状況 最も摩耗した主索の番号　（　2　） 直径（　11.2mm）　未摩耗直径（　12.0mm）	93.3%	要是正	※主索No.1で要重点点検となった、素線切れ箇所の写真を別添1に添付してください。 ※主索No.2で要是正となった、錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える箇所の写真を別添1に添付してください。 ※「素線切れ判定基準」及び「錆及び錆びた摩耗粉判定基準」にそれぞれの判定記号を記入してください。
	素線切れ 最も摩損した主索の番号　（　1　） 該当する素線切れ判定基準　（　1ーロ　） 素線切れが生じた部分の断面積の割合 70%超・70%以下	1よりピッチ内の(8より)素線切れ数　10　本 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　4　本		
	錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 （あり・なし） 谷部が赤錆色に見える主索の番号　（　2　） 直径（　11.2mm）　未摩耗直径（　12.0mm） 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準　（　3-イ　）	93.3% 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　3　本		
	主索本数（　4　） 要重点点検の主索の番号（　1　）　要是正の主索の番号（　2　）			
G 素線切れ要是正 錆びた摩耗粉要重点点検	径の状況 最も摩耗した主索の番号　（　1　） 直径（　11.7mm）　未摩耗直径（　12.3mm）	95.1%	要是正	※主索No.1で要是正となった、素線切れ箇所の写真を別添1に添付してください。 ※主索No.2で要重点点検となった、錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える箇所の写真を別添1に添付してください。 ※「素線切れ判定基準」及び「錆及び錆びた摩耗粉判定基準」にそれぞれの判定記号を記入してください。
	素線切れ 最も摩損した主索の番号　（　1　） 該当する素線切れ判定基準　（　2ーイ　） 素線切れが生じた部分の断面積の割合 70%超・70%以下	1よりピッチ内の(8より)素線切れ数　15　本 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　10　本		
	錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 （あり・なし） 谷部が赤錆色に見える主索の番号　（　2　） 直径（　11.8mm）　未摩耗直径（　12.3mm） 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準　（　4-ロ　）	95.9% 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　2　本		
	主索本数（　4　） 要重点点検の主索の番号（　2　）　要是正の主索の番号（　1　）			
H 主索に錆び付着し、素線切れが確認できず要是正	径の状況 最も摩耗した主索の番号　（　3　） 直径（　11.9mm）　未摩耗直径（　12.0mm）	99.2%	要是正	※主索No.3で錆が多量に付着し素線が確認できない箇所の写真を別添1に添付してください。 ※該当する素線切れ判定基準に「素線切れが確認できない」と記入してください。 ※谷部が赤錆色に見える部分欄の素線切れ数は抹消してください。 ※主索の本数を記入し、要重点点検の主索の番号は未記入とし、要是正の主索の番号を記入してください。
	素線切れ 最も摩損した主索の番号　（　3　） 該当する素線切れ判定基準　（素線切れが確認できない） 素線切れが生じた部分の断面積の割合 ~~70%超・70%以下~~	1よりピッチ内の素線切れ数　——　本 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　——　本		
	錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 （あり・なし） 谷部が赤錆色に見える主索の番号　（　3　） 直径（　11.9mm）　未摩耗直径（　12.0mm） 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準　（　1-イ　）	99.2% 1構成より1ピッチ内の最大素線切れ数　——　本		
	主索本数（　4　） 要重点点検の主索の番号（　）　要是正の主索の番号（　3　）			